

T&Dブル・ベア・ファンド (マネープール・コース)

運用報告書 (全体版) (満期償還) (償還日 2017年12月18日)

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券	
信託期間	2015年12月17日から2017年12月18日まで	
運用方針	安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	「マネーアカウントマザーファンド」を主要投資対象とします。
	マザーファンド	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	ベビーファンド	株式への直接投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。
	マザーファンド	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「T&Dブル・ベア・ファンド (マネープール・コース)」は、信託約款の規定に基づき、2017年12月18日に信託期間を満了し償還となりましたので、運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

これまでのご愛顧に対しまして、厚く御礼申し上げます。

T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝 5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

<http://www.tdasset.co.jp/>

設定以来の運用実績、基準価額の推移等

設定以来の運用実績

決算期	基準価額				債組入比率	債券先物比率	純資産総額
	(分配落)	税金分配	み金	期騰落中率			
設定日 2015年12月17日	円 10,000	円 —	—	% —	% —	% —	百万円 1
1期 (2016年12月19日)	9,995	0	△0.1	—	—	—	0.9
償還日 2期 (2017年12月18日)	(償還価額) 9,987.70		△0.1	—	—	—	1

(注) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、特定の指数に連動すること、または指数を上回ることを目的として運用をしていないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		債組入比率	債券先物比率
		騰落率		
期首 (前期末) 2016年12月19日	円 9,995	% —	% —	% —
12月末	9,995	0.0	—	—
2017年1月末	9,995	0.0	—	—
2月末	9,994	△0.0	—	—
3月末	9,993	△0.0	—	—
4月末	9,992	△0.0	—	—
5月末	9,991	△0.0	—	—
6月末	9,991	△0.0	—	—
7月末	9,990	△0.1	—	—
8月末	9,990	△0.1	—	—
9月末	9,989	△0.1	—	—
10月末	9,989	△0.1	—	—
11月末	9,988	△0.1	—	—
償還日 2017年12月18日	(償還価額) 9,987.70	△0.1	—	—

(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。

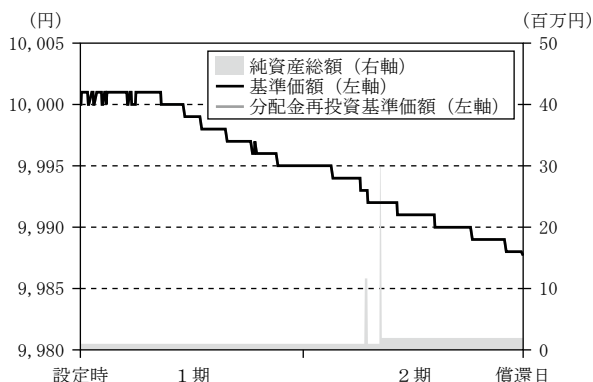
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、特定の指数に連動すること、または指数を上回ることを目的として運用をしていないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

設定以来の運用経過

■ 基準価額等の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、設定日(2015年12月17日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

■ 基準価額の主な変動要因

主にコールローンおよび、「マネーアカウントマザーファンド」へ投資した結果、マザーファンドの基準価額変動と設定・解約および信託報酬等の影響から、基準価額(分配金再投資ベース)は下落しました。

■ 投資環境

【国内短期金融市況】

第1期(設定日～2016年12月19日)

国庫短期証券3ヵ月物利回りは低下しました。期初は $\Delta 0.02\%$ でしたが、2016年1月下旬に日銀がマイナス金利政策の導入を決定したことや、海外投資家の需要の高まりから金利水準は大きく低下し、期末には $\Delta 0.40\%$ となりました。

第2期(2016年12月20日～償還日)

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期初の $\Delta 0.40\%$ から期末は $\Delta 0.18\%$ となりました。日銀による「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」などの短期金利を低位に抑える金融政策が継続しましたが、日銀の国庫短期証券買入オペ動向の不透明感の高まりなどから利回りは上昇しました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

【当ファンド】

「マネーアカウントマザーファンド」を主要投資対象として、同マザーファンドを高位に組み込まれました。残りの資産につきましてはコールローン等で運用を行いました。

満期償還に伴い、2017年12月中旬に同マザーファンドを全売却し、コールローン等による運用

を行いました。

【マネーアカウントマザーファンド】

国庫短期証券の利回りがマイナスとなった局面で組入れを見送り、組入比率を0%としました。その後も利回りがマイナスで推移したため、組入比率は0%となりました。組入比率が0%の期間については、資産を全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

1 万口当たりの費用明細 (2016年12月20日から2017年12月18日まで)

費用の明細

項目	当期		項目の概要
	2016/12/20～2017/12/18		
	金額	比率	
平均基準価額	9,991円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬	0円	0.001%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(0)	(0.000)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(0)	(0.001)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(0)	(0.000)	運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.003	(b) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	0	0.004	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

売買および取引の状況 (2016年12月20日から2017年12月18日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
マネーアカウントマザーファンド	千口 35,393	千円 35,500	千口 36,290	千円 36,398

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等 (2016年12月20日から2017年12月18日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

※利害関係人とは投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

自社による当ファンドの設定・解約状況 (2016年12月20日から2017年12月18日まで)

期首残高 (元本)	当期設定元本	当期解約元本	償還時残高 (元本)	取 引 の 理 由
千円 1,000	千円 —	千円 —	千円 1,000	当初設定時における取得

(注) 単位未満は切捨て。

組入資産の明細 (2017年12月18日現在)

償還時における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2017年12月18日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 1,955	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	1,955	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および償還価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および償還価額の状況

2017年12月18日現在

項 目	償 還 時
(A) 資 産	1,955,668円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,955,668
(B) 負 債	36
未 払 利 息	3
そ の 他 未 払 費 用	33
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	1,955,632
元 本	1,958,041
償 還 差 損 益 金	△ 2,409
(D) 受 益 権 総 口 数	1,958,041口
1 万 口 当 た り 償 還 価 額 (C / D)	9,987円70銭

- (注) 期首元本額 1,000,000円
 期中追加設定元本額 39,468,508円
 期中一部解約元本額 38,510,467円
- (注) 元本の欠損
 償還時現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は2,409円です。
- (注) 1口当たり純資産額は0.998770円です。

損益の状況

当期 自2016年12月20日 至2017年12月18日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 80円
支 払 利 息	△ 80
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 685
売 買 益	1,507
売 買 損	△2,192
(C) 信 託 報 酬 等	△ 85
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 850
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 3
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△1,556
(配 当 等 相 当 額)	(△ 117)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△1,439)
償 還 差 損 益 金 (D + E + F)	△2,409

- (注) 損益の状況の中で
 (C) 信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

投資信託財産運用総括表

信 託 期 間	投資信託契約締結日	2015年12月17日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2017年12月18日			資 産 総 額	1,955,668円
区 分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負 債 総 額	36円	
				純 資 産 総 額	1,955,632円	
受 益 権 口 数	1,000,000口	1,958,041口	958,041口	受 益 権 口 数	1,958,041口	
元 本 額	1,000,000円	1,958,041円	958,041円	1 万 口 当 た り 償 還 金	9,987.70円	
毎計算期末の状況						
計 算 期	元 本 額	純 資 産 総 額	基 準 価 額	1 万 口 当 た り 分 配 金		
				金 額	分 配 率	
第 1 期	1,000,000円	999,549円	9,995円	0円	0.0000%	

償還金のご案内

1 万 口 (元本10,000円) 当 た り 償 還 金 (税 込 み)

9,987円70銭

補足情報

マネーアカウントマザーファンドの主要な売買銘柄
当期における売買はありません。

マネーアカウントマザーファンド

運用報告書（全体版） 第16期（決算日 2017年12月11日）
（計算期間 2017年6月13日から2017年12月11日まで）

「マネーアカウントマザーファンド」は、2017年12月11日に第16期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保を目標として運用を行います。
主要運用対象	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純資産総額
	円	騰落率			
12期（2015年12月10日）	10,038	0.0	54.5	—	1,055
13期（2016年6月10日）	10,037	△0.0	—	—	1,019
14期（2016年12月12日）	10,033	△0.0	—	—	1,383
15期（2017年6月12日）	10,029	△0.0	—	—	922
16期（2017年12月11日）	10,026	△0.0	—	—	601

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 円	騰 落 率		債券組入比率 %	債券先物比率 %
		騰 落	率		
期首(前期末) 2017年6月12日	10,029	—	%	—	—
6月末	10,029	0.0	%	—	—
7月末	10,028	△0.0	%	—	—
8月末	10,028	△0.0	%	—	—
9月末	10,027	△0.0	%	—	—
10月末	10,027	△0.0	%	—	—
11月末	10,026	△0.0	%	—	—
期 末 2017年12月11日	10,026	△0.0	%	—	—

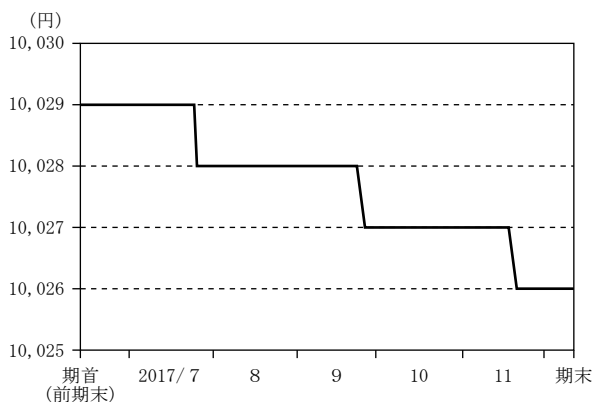
(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の10,029円からスタートし、期末は10,026円となりました。運用対象であるコールローン等の利回りがマイナスで推移したことから、下落となりました。

■ 投資環境

【国内短期金融市場】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期初の△0.11%から期末は△0.17%となりました。日銀の国庫短期証券買入オペ動向の不透明感などから利回りが上昇する局面もありましたが、海外勢による需要の高まりなどを背景に金利は低下しました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

短期国債の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

足許における比較的堅調な国内外の景気動向などを背景に、日本のインフレ率は上向いていくと予想しますが、依然、基調的なインフレ圧力は弱く、インフレ期待が急速に高まる可能性は低いとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内短期金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、短期国債や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2017年6月13日から2017年12月11日まで)

当期において発生した費用はありません。

売買および取引の状況 (2017年6月13日から2017年12月11日まで)

当期における売買はありません。

利害関係人との取引状況等 (2017年6月13日から2017年12月11日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2017年12月11日現在)

当期末における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2017年12月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 661,045	% 100.0
投資信託財産総額	661,045	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	661,045,836円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	661,045,836
(B) 負 債	60,001,184
未 払 解 約 金	60,000,000
未 払 利 息	1,184
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	601,044,652
元 本	599,480,283
次 期 繰 越 損 益 金	1,564,369
(D) 受 益 権 総 口 数	599,480,283口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C / D)	10,026円

(注) 期首元本額 920,103,268円
 期中追加設定元本額 1,995,071,770円
 期中一部解約元本額 2,315,694,755円

(注) 1口当たり純資産額は1.0026円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳

T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)円ヘッジ・コース	66,127,026円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)米ドルプル・コース	12,370,307円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)米ドルベア・コース	810,623円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)ユーロプル・コース	154,330円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)ユーロベア・コース	1,712,731円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)豪ドルプル・コース	52,355,949円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)豪ドルベア・コース	430,154円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)リアルプル・コース	21,729,762円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)インドリアルベアプル・コース	636,065円
T & D J リートファンド限定追加型1402	488,474円
T&Dブル・ベア・ファンド(南アランド・プル・コース)	49,811円
T&Dブル・ベア・ファンド(南アランド・ベア・コース)	49,811円
T&Dブル・ベア・ファンド(ブラジルリアル・プル・コース)	49,811円
T&Dブル・ベア・ファンド(ブラジルリアル・ベア・コース)	49,811円
T&Dブル・ベア・ファンド(インド株・プル・コース)	49,811円
T&Dブル・ベア・ファンド(インド株・ベア・コース)	49,811円
T&Dブル・ベア・ファンド(中国株・プル・コース)	49,811円
T&Dブル・ベア・ファンド(中国株・ベア・コース)	49,811円
T&Dブル・ベア・ファンド(原油指数・プル・コース)	49,811円
T&Dブル・ベア・ファンド(原油指数・ベア・コース)	49,811円
T&Dブル・ベア・ファンド(米国リート・プル・コース)	49,811円
T&Dブル・ベア・ファンド(米国リート・ベア・コース)	49,811円
T&Dブル・ベア・ファンド(マネーボール・コース)	1,694,200円
リビング・アース戦略ファンド(年2回決算コース)	99,632円
リビング・アース戦略ファンド(年4回決算コース)	99,632円
T&Dダブルプル・ベア・シリーズ5(インド・ダブルプル5)	19,931円
T&Dダブルプル・ベア・シリーズ5(インド・ダブルベア5)	19,931円
T&Dダブルプル・ベア・シリーズ5(中国・ダブルプル5)	19,931円
T&Dダブルプル・ベア・シリーズ5(中国・ダブルベア5)	19,931円
T&Dダブルプル・ベア・シリーズ5(リアル・ダブルプル5)	19,931円
T&Dダブルプル・ベア・シリーズ5(リアル・ダブルベア5)	19,931円
T&Dダブルプル・ベア・シリーズ5(金・ダブルプル5)	19,931円
T&Dダブルプル・ベア・シリーズ5(金・ダブルベア5)	19,931円
T&Dダブルプル・ベア・シリーズ5(マネーボール5)	440,014,218円

損益の状況

当期 自2017年6月13日 至2017年12月11日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 312,866円
支 払 利 息	△ 312,866
(B) 当 期 損 益 金 (A)	△ 312,866
(C) 前 期 繰 越 損 益 金	2,684,250
(D) 追 加 信 託 差 損 益 金	5,558,230
(E) 解 約 差 損 益 金	△ 6,365,245
(F) 合 計 (B + C + D + E)	1,564,369
次 期 繰 越 損 益 金 (F)	1,564,369

(注) 損益の状況の中で

(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。
 (E)解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。